

第4回会合宿題事項への対応

	宿題事項	対応・回答
1	<p>整備工場が、検査用スキャンツールのソフトウェアアップデートが必要なタイミングや、アップデートが行われることを確実にわかるようにする必要がある。このため、スキャンツールのソフトウェアアップデートに関する周知方法をルール化していく必要がある。</p> <p style="text-align: right;">【事務局】</p>	<p>ツールメーカー各社は、ソフトウェアアップデートに関する周知を自社ホームページやユーザーへのメール等で行っていますが、今後、周知方法のルール化について、国交省等と検討します。</p> <p style="text-align: right;">【機工協・自機工】</p>
2	<p>ディーラーにおける準備状況に関し、指標の目標設定を行い、進捗管理を行っていく必要がある。</p> <p style="text-align: right;">【事務局】</p>	<p>「資料5-2 メーカー系列販売店の準備状況」のとおりです。</p> <p style="text-align: right;">【自工会】</p>
3	<p>資料5-1の指標「初回アプリ使用率」を伸ばしていくために、指定工場に対して以下の点を周知する必要がある。</p> <p>① 検査用スキャンツールにおいて、どの画面まで遷移すればアプリを使用したこととなるのか。</p> <p>② 現在の準備状況が、初回アプリ使用完了に至るまでの、どの段階にあるのか。</p> <p style="text-align: right;">【事務局】</p>	<p>①については、関係団体に提供する「ID申請済事業場一覧」に解説を追記しました。(2/20)</p> <p>②については、準備の進捗段階をイメージいただくための資料「参考資料4 OBD検査の始め方」を準備しました。</p> <p style="text-align: right;">【事務局】</p>
4	<p>スキャンツール補助金について、買い控えを抑止するためにも次年度は早々に開始してほしい。</p> <p style="text-align: right;">【日整連】</p>	<p>来年度のスキャンツール補助金は、6月頃※から募集を開始すべく準備を進めています。</p> <p>募集開始日が決まりましたら、前広に周知します。</p> <p>※ 4月以降速やかに公募により執行団体を決定し、執行団体における準備を経て募集を開始するため、一定の時間を要します。</p> <p style="text-align: right;">【国交省】</p>
5	<p>機構が製作・配布している「特定DTC照会アプリ」がアップデートされた場合、既に型式認定を受けた検査用スキャンツールが、新しいアプリに対応できるよう、認定要領のあり方やシステム改修の際の周知の仕方を検討する必要がある。</p> <p style="text-align: right;">【日整連・機工協】</p>	<p>「参考資料6 OBD検査システム・検査用スキャンツール技術連絡会の設置について」のとおり、関係者からなる連絡会を設置し、検討します。</p> <p style="text-align: right;">【事務局・機工協・自機工】</p>

	宿題事項	対応・回答
6	<p>軽微なソフトウェアアップデートの際には機工協への変更申請を不要としてほしい。</p> <p style="text-align: right;">【自機工】</p>	<p>「参考資料6 OBD検査システム・検査用スキャンツール技術連絡会の設置について」のとおり、関係者からなる連絡会を設置し、変更申請を不要とする「軽微な変更」の範囲を特定する等について検討を行います。</p> <p style="text-align: right;">【事務局・機工協・自機工】</p>
7	<p>入庫時にOBD検査を実施し、その後、OBD検査の合否に影響を及ぼす整備又は改造等を行わなければ、完成検査時のOBD検査を省略できる、いわゆる「検査の合理化」に関し、“OBD検査の合否に影響を及ぼす整備又は改造等”の考え方について、整理した上で次回のOBD検査準備会合にて報告する。</p> <p style="text-align: right;">【自工会】</p>	<p>現在、各自動車メーカーが届け出た特定DTCを精査しつつ、「検査の合理化」の考え方、意見を集約中です。今後、実車による検証を含めた技術根拠の整理が必要となるため、次回会合で結果を報告します。</p> <p style="text-align: right;">【自工会】</p>